2019年7月16日
発行

発行人　諏訪 榮治郎
編　集　スタッフ一同

カトリック大阪教会管区
カリタス大船渡ベース　地ノ森いこいの家

No. 67

大船渡だより

大船渡ベースの活動紹介

～居場所ハウス開所６周年～

６月１５日に、大船渡市末崎町の多世代交流施設『居場所ハウス』の開所６周年を記念した感謝祭と、月に１度の朝市が同時開催されました。

当日は、八戸ウルスラ学院高等学校の生徒(１７名)と、引率の先生(２名)とカリタス大船渡ベーススタッフが『居場所ハウス』に伺いました。ゲームコーナーやたこ焼きコーナー等のお手伝いをさせていただく予定でしたが、あいにくの雨模様となり、ゲームコーナーは全て中止となってしまい、生徒さん達による歌だけ披露されました。１７名のとても素敵な歌声で、校歌と聖歌を披露して下さり、歌い終わった後は、「アンコール！」という掛け声と共にたくさんの拍手が起こりました。アンコール曲を相談中に、大船渡ベースのベース長も舞台に招かれ、八戸ウルスラ学院高等学校と大船渡ベースの関わりの経緯や、ベースの活動などが絶妙な語りで紹介されました。

アンコール曲を歌い終わった後は、再びたくさんの拍手が沸き起こりました。生徒さんは、「雨の日のイメージとは違う、あふれる温かみを感じるイベントでした。」と感想を述べられました。

どうぶつクッキー作りをしました♪

６月のママサロンは『どうぶつクッキー作り』を行ないました。

当日は、いちご、抹茶、ココア、カボチャ、プレーンの５種類のクッキー生地を用意し、動物の形を作りました。２歳から８０代のご近所の方々が集まり、一緒にクッキー作りを楽しみました。子供達は、粘土感覚で馴れた手つきで生地を丸め、形にしていました。子供はもちろんのこと、大人も夢中になり、かわいい作品がたくさん生まれました。

クッキーを焼いている時間は、子供達が遊べるスペースを作りました。普段、一緒に遊ぶ機会のない子供同士もすぐに仲良くなり、一緒に遊んでいました。思い切り遊ぶ子供達、そしてお母様同士のお喋りも弾み、ベースには笑顔が溢れました。

これまでは週に２回、子供達が遊べる場所を提供していましたが、参加者があまりありませんでした。今回、イベントに切り替えたことが、ご近所の方々が集まるキッカケとなり、賑わって良かったです。ベースが地域の皆様の交流の場となる活動をしていきたいです。

この道を　より高い所に　駆け上がれ！

陸前高田市高田町を南北に貫く主要避難道・シンボルロードの全線開通を祝い、現地でシンボルロードが避難路であることを伝える『記念碑』の除幕式が行われました。同路線南端に設置された碑文には、“この道を　より高い所に駆け上がれ！”と記されています。

平成２５年に市民有志らで発足した陸前高田『ハナミズキのみち』の会では「海側から山側へ抜けるシンボルロードの両端を紅白のハナミズキで彩り、避難路であることを明示したい。」と、かねてより市に対しても要望し、植樹を実現させるための活動を繰り広げてきました。

４月２６日に開通したシンボルロードのうち、中心市街地を含む土地区画整理事業区域内には、市がすでにハナミズキ９０本以上を植えており、白と薄紅色の花を交互に咲かせながら並び立っています。同会では、秋頃さらに２１本の植樹をして完成させる予定ですが、それで終わりではなく、なぜこの道があるのか多くの人に知ってもらいたいとのことです。

2019年6月1日～30日の活動紹介

※随時、ベースで
お茶っこと在宅訪問をしています。

1日：買物送迎
4日：ほしっこクラブ（海の星幼稚園未就園児教室）　子ども見守り
5日：買物送迎 / 平南アパート　お好み焼き / 手芸サロン
6日：所通東アパート　お好み焼き
7日：カリタスシネマ
8日：買物送迎 / ママサロン　動物クッキー作り
9日：外国人支援　引越し手伝いと清掃 / 被災地見学
11日：第3回東日本大震災応援ツアー
12日：第3回東日本大震災応援ツアー / 買物送迎 / 手芸サロン
13日：上山東アパート　たこ焼き / 外国人支援　メールソフト設定
15日：被災地見学 / 居場所ハウス6周年記念イベント手伝い / 買物送迎
16日：大船渡教会訪問 / 被災店舗訪問
18日：ほしっこクラブ（海の星幼稚園未就園児教室）子ども見守り
19日：買物送迎 / 手芸サロン / 被災地見学
20日：外国人支援　PC操作補助 / 外国人支援　在宅訪問
22日：買物送迎 / カリタスシネマ
26日：買物送迎 / 清水アパート　お好み焼き / 手芸サロン
27日：手芸のつどい　遠足 / 個人依頼　布団入替
28日：たかたゆめキッチン　調理補助 / 被災地見学 / 乳幼児学級説明会
29日：買物送迎 / みんなでお昼ごはん

地域のイベントや活動紹介

夢海公園と時計塔

大船渡駅周辺地区の土地区画整理事業の一環として、町の中央を流れる須崎川の河口付近に公園が整備され、『夢海（ゆめみ）公園』と名付けられました。地域住民の皆さんの交流の場、いこいの場として今年４月にオープン。緑豊かな芝生の広場や子供達に大人気の大型遊具、東屋、水道、トイレ等が設けられ、親子連れなど、世代を超えて楽しめる場となっています。

そしてその一角に、東日本大震災の記憶を後世に受け継ぐ大船渡市唯一の震災遺構として、震災前の中心商店街に整備されていた『茶々丸パーク』にあった時計塔が、津波が押し寄せた１５時２５分で止まった状態で展示されています。震災の経験や教訓を風化させることなく未来へ伝えるために、復興の象徴である夢海公園に保存することにしたのです。

大船渡市の元中心地の様子（2019/7/11　撮影）

ボランティア
登録者数

男性651人
女性1302人
⇒合計1953人

◆6月1日～6月30日
ボランティア数
男　性：11 名
女　性：14 名

ボランティアさん大募集中！

大船渡ベースでは、災害公営住宅やベース内での『サロン活動』(手芸サロン・ちぎり絵教室・抹茶サロン・ママサロンなど)や、在宅訪問など、地域の方に寄り添う活動を主として行っています。

また、復興状況をご自身の目・肌で感じていただけるよう、『被災地見学』を活動に組み込んでいます。

興味のある方は、是非一度ボランティアにご参加下さい。

※詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい。

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家　〒022-0002
岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2
電話・FAX：0192-47-4737(9:00～18:00)　急 用 時：090-5666-1747
●E メ ー ル：ofunatobase@gmail.com　●ブログURL：http://ameblo.jp/ofunatobase/